

学 校 教 育

施策展開の方向及び主要事業	14
小・中学校児童生徒数の推移	20
学校施設整備計画	21
研修及び研究奨励事業等の概要	22
平成 26 年度研究学校	23
学校体育・学校保健・学校給食	25
特別支援教育	29
教育センター	30
養護教育センター	35

学 校 教 育

■施策展開の方向及び主要事業

1 わかる授業を推進し、自ら学ぶ力を身に付けさせる

①学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の推進

中学校教科書等購入

平成 26 年度は、小・中学校の学級増に伴い、各教科指導の充実を図るため、改訂された教科用図書及び指導書を教員に貸与する。

少人数学習指導教員配置

非常勤講師を少人数学習指導教員として配置し、基本的な内容の確実な定着を図るための少人数学習指導及び児童・生徒一人一人がきめ細かな学習指導や生活指導を受けられるよう、学校の具体的な取組に対し支援を行う。

学力状況調査の実施

児童生徒の学習状況や学習指導上の課題を把握し「わかる授業」を推進するため、全ての小学校 3 年生・5 年生、中学校 2 年生を対象とした学力状況調査を実施する。

学校支援員の配置

大学生や退職教員等を学習指導の補助等、学校の要望に応じて学校支援員として配置する事業を N P O「ちば教育夢工房」に委託し、きめ細かい指導を行う中で確かな学力の育成を図る。

学校訪問指導の実施

学校教育の課題を踏まえ、学校訪問を通して、「わかる授業」づくりの一層の推進を図るための指導助言を行う。

学校図書館指導員による読書活動の充実推進

全小・中・特別支援学校に配置された学校図書館指導員が、児童生徒の豊かな読書活動を推進する。児童生徒への適切な図書の紹介や読み聞かせ、図書館の環境整備などを通して豊かな言葉と心を育む。

理科教育サポーターの配置

理科学習を支援する理科教育サポーター配置し、児童生徒の自然事象を探求する意欲や技能、自然科学や科学技術への関心を高める。

千葉市立千葉高校におけるスーパーサイエンスハイスクールの推進

平成 24 年度から文部科学省の指定を受け、未来を担う科学技術系人材を育てるために、先進的な科学技術、理科、数学教育を実践する。

②学びを深め、広げる教育の推進

科学教育の推進

理科や数学の学習に意欲的に取り組む中学生・高校生の能力を伸ばすための質の高い学習プログラムを提供し、科学教育を推進する。

情報教育推進

高度情報化社会に必要な情報活用能力を育成するため、情報機器や情報通信網を活用した情報教育を推進する。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| (1) 教育情報ネットワーク(Cabinet)管理運用 | (4) 情報教育支援員の配置 |
| (2) 情報教育推進の調査研究等 | (5) 校内 L A N の活用 |
| (3) 情報セキュリティ対策推進 | (6) 電子黒板等 I C T を活用した授業の推進 |

2 社会性を備えた豊かな心をはぐくむ

①命を大切にす心や思いやりの心をはぐくむ教育の推進

夢広がる学校づくりの推進

子どもたちの社会性や豊かな心をはぐくむため、農山村留学や移動教室、自然教室、げんきキャンプなどの各種体験活動を行う。

(1) 農山村留学 小学校6年生 全校 (3) 自然教室 中学校2年生 全校

(2) 移動教室 小学校5年生 全校 (4) 長柄げんきキャンプ 小・中特別支援学級及び特別支援学校

ボランティア教育の推進

ボランティア教育推進校を指定し、学校生活の中でボランティアに関する体験的な活動を経験させ、思いやりなどの豊かな心をはぐくむ。

不登校やいじめに関する教育相談の実施

不登校やいじめなど教育全般にわたる悩みを持つ幼児・小学生・中学生・高校生・高校生年齢の青少年とその保護者、教職員などの相談に応じる。

・ 教育相談ダイヤル24

・ 教育センターの電話相談、来所相談（個別相談、医療相談、グループカウンセリング活動）、家庭訪問相談

スクールカウンセラー活用

いじめや不登校などに対応するため、臨床心理士等による児童生徒へのカウンセリングを行うとともに、教職員及び保護者に対する助言・援助を行い、悩みなどの解消を図る。

(1) スクールカウンセラー配置 中学校56校 拠点小学校等6か所

(2) スーパーバイザー配置

スクールソーシャルワーカー活用

教育と福祉の両面に関して専門的な知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ、関係機関などとのネットワークの構築、連携・調整や学校内におけるチーム体制の構築、支援など相談体制の整備を支援する。

子ども議会の実施

児童生徒が千葉市の現状と課題について話し合い、「市民一人一人が生き生きと幸せに暮らせるまちづくり」に向けた具体的な提案・質問を行う。

中学校生徒会交流会の実施

各中学校の生徒会活動の充実を図るため、各校の取組みの情報交換や運営上の課題を話し合う。

②夢や希望をはぐくむ教育の推進

小学校英語活動推進

全小学校の5・6年生を対象として、英語を母語とする外国人講師を教員の補助者として配置し、外国語活動を推進する。

外国人講師の配置

全中学校・高等学校に外国人講師を配置し、教科担任との協同授業などにより英語のコミュニケーション能力の向上を目指す。

外国語教育の充実

英語教育強化のため、外部英語試験の受験や全国英語ディベート大会に参加するなどの活動を行う。

中高一貫教育（英語教育）

中高一貫教育目標である「真の国際人の育成」のため、ネイティブスピーカー講師による英語指導を行う。

③豊かな情操をはぐくむ教育の推進

学校図書館図書の実

基本図書（図鑑・事典類）、研究参考図書（調べ学習に対応できる図書）、一般図書（楽しむための図書）のバランスを踏まえて購入し、蔵書の充実を図る。

未来への夢を育む音楽芸術体験教室

中学生の音楽文化への理解を深めるとともに、我が国や諸外国の芸術文化に対するグローバルな視野を広げることを目的に、邦楽・能楽・声楽・洋楽（オーケストラ）の演奏家を学校に派遣し、興味・関心を高める体験教室や情操を育む音楽鑑賞会を開催する。

3 体力を高め、健康な体をはぐくむ

①体力向上の推進

体力・運動能力調査

全小中学校で実施している、新体力テストの結果を集計し、本市の経年比較や全国・県平均との比較考察を行い、児童生徒の体力・運動能力を把握するとともに、体力向上施策に生かす。

また、本市独自で小学校運動能力検定を実施する。

小・中学校各種体育大会、発表会の開催

小学校では、表現運動発表会、陸上大会、球技大会を、中学校では、総合体育大会等を開催する。

武道等指導推進

中学校武道必修化を踏まえ、今後の武道等の指導の充実を図ることを目的として、地域の指導者の技術及び安全における専門的な知識や指導力の活用方策等について実践研究を行う。

運動部活動指導の工夫・改善支援

「運動部活動での指導のガイドライン」を踏まえ、運動部活動が充実し、より一層教育効果が高まるよう、地域のスポーツ指導者等を活用した運動部活動の指導体制について実践研究を行う。

②健やかな体の育成

学校検診

児童生徒の疾病の早期発見と早期治療を図るため、各種検査及び保健指導等を行う。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| (1) 腎疾患対策（尿検査・細菌尿検査） | (4) 結核対策（結核健診・精密検診） |
| (2) 心疾患対策（心電図検査・精密検診） | (5) ぎょう虫卵検査 |
| (3) 脊柱側弯症対策（モアレ検査・低線量X線検査） | |

小学校給食調理業務委託化

小学校給食運営における諸問題を解決し、今後も子どもたちに、安全・安心で魅力ある給食を提供するため、新規8小学校を含む50小学校において給食調理業務の民間委託を行う。

学校給食

安全で豊かな学校給食の充実を図るため、学校給食運営に必要な消耗品や備品などを整備するとともに、各種検査（腸内細菌検査等）を行う。

学校給食センター運営

成長期にある生徒に、安全でバランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供する。

また、新港学校給食センター・大宮学校給食センターの管理運営をPFI事業により行う。

4 家庭の教育力を高め、地域の教育力を生かす

①地域の教育力を活用した家庭・学校への支援の充実

放課後子ども教室推進

子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、地域の参画を得て「放課後子ども教室」を全ての小学校で実施する。

運動部活動指導の工夫・改善支援（再掲）

武道等指導推進（再掲）

学校・家庭・地域連携によるまちづくりの推進

学校・家庭・地域の連携により、各地域の特色を生かした地域活動を推進し、児童生徒の地域に対する愛着や誇りをはぐくむ。

学校セーフティウォッチ

児童生徒の安全確保を図るため、学校セーフティウォッチャーによる見守り活動を支援するとともに、地域ぐるみの学校安全体制整備を推進する。

5 子どもの学びを支える教育環境を整える

①学校施設等の整備・充実

校舎等耐震補強

児童生徒の安全を確保するため、校舎等の耐震補強工事を行う。

校舎 ・小学校 23校 ・中学校 8校 ・高校 1校 ・特別支援学校 1校

屋内運動場 ・小学校 10校 ・中学校 2校 ・高校 1校

非構造部材等耐震対策

児童生徒の安全を確保するため、吊天井等落下防止対策工事を行う。

・小学校 10校 ・中学校 11校

校舎エレベーター設置

障害のある児童生徒の、学校生活の向上と移動に伴う負担軽減を図るため、校舎にエレベーターを設置する。

・小学校 4校 ・中学校 2校 設置工事

特別支援学級等施設の整備充実

児童生徒の障害の種別や程度に応じた教育を行うため、設置から3年目までの特別支援学級などへ指導用備品を整備する。

学校防犯対策

施設被害や侵入等のある学校の中から4校に防犯カメラシステムを設置し、安全で安心な学校づくりを推進する（設置校57校→61校）。

教材教具充実

教育内容の充実を図るため、児童生徒の教育に必要な、消耗品や備品を整備する。

②教育環境の改善と特色ある学校づくりの推進

学校適正配置推進

学校の小規模校化・大規模校化によって生じる教育上・学校運営上の諸問題や教育環境の不均衡を解消するとともに、子どもたちのより良い教育環境の整備と教育の質の充実を図るため、学校適正配置を推進する。

小規模校については、立地形態の区分ごとに、統合又は学区調整により適正配置を検討する。

大規模校については、隣接する学校との学区調整等により適正配置を推進する。

学校適正配置改修

学校適正配置事業により統合した小・中学校について、校舎及び諸施設の大規模改修を行う。

- ・磯辺中学校（平成 25 年度～平成 26 年度継続）
- ・幸町統合小学校（幸町第四小学校）（平成 26 年度～平成 27 年度継続）
- ・花見川統合中学校（花見川第一中学校）

特色ある教育活動の展開

各学校において、地域の自然や文化に親しむ活動、異文化との交流を図る活動、学習発表会などの総合的な学習の時間をはじめ、教科や特別活動、学校行事を充実させる中で、学校や地域のよさを生かした特色ある学校づくりを推進する。

特色ある学校づくり推進

各学校の自主性・自律性の確立のため、学校の裁量で執行可能な予算措置を図ることにより、特色ある教育活動を積極的に支援する。

③学びの連続性を重視した教育の推進

幼保小関連教育の推進

幼稚園・保育所（園）等と小学校の円滑な接続を図るため、小学校と近隣の幼稚園や保育所（園）の連携を推進する。

小中連携・一貫教育の推進

小中連携教育研究指定校の実践などを生かしながら、小中一貫教育の推進について検討する。小・中学校の円滑な接続と学びの連続性を重視した小中一貫教育カリキュラムを作成し、研究指定校で実施することで内容の検証を行う。

海外・国内科学技術研修派遣

自然の事物・現象に対する関心を高め、科学的に探究する態度、能力及び豊かな国際性を養うことを目的に、理数科 1 年次に国内（大島）、2 年次に海外（アメリカ）にて科学技術研修を行う。

国際交流事業の推進

ホームステイや体験入学を通して、生徒が実践的な語学の習得と豊かな国際性を養うために、姉妹都市であるヒューストン市、ノースバンクーバー市などの生徒・職員との交流事業を推進する。

6 意欲と指導力のある教職員を確保・育成するとともに、教職員が職務に専念できる体制を整備する

①教職員の資質・指導力の向上

教職員研修

教職員の資質能力の向上や教育課題の解明に向けた教職員研修の充実を図るため、研修内容や形態・日程の工夫改善を図り、よりよい研修講座の運営を行う。

小・中学校研究学校の指定

教育課題解明のため、研究学校を指定し、教育活動全般の研究を行い、研究報告会や実践報告書の作成を通して課題解決の促進を図る。

②教職員への支援体制の充実

子どもの夢をはぐくむ学校サポート推進事業

学校の必要とする人材を学校支援員として各学校に配置する事業を NPO「ちば教育夢工房」に委託し、実施する。

教職員ヘルシーシステム

学校医（産業医）・スクールカウンセラー等が、年間 18 校程度を巡回し、教職員の心身の健康相談を行う。

また、医師会・管理職・関係課・教職員組合などの代表で構成するメンタルサポート委員会を年間2回開催し、教職員の健康管理について協議するとともに、年代別教職員メンタルヘルス研修会を年2回行う。

7 多様な教育的支援を充実させるための教育環境整備を一層進める

①特別支援教育の推進

特別支援教育指導員配置

緊急に対応が必要なADHD児などが在籍する学校に対して、対象児の状況の改善と校内支援体制の整備を図るため、特別支援教育指導員の配置を推進する。

特別支援学級等施設の整備充実（再掲）

高等特別支援学校整備（再掲）

障害等に関する教育相談の実施

障害等のある幼児・児童生徒及び保護者、教職員に対して教育相談を行う。

電話相談、来所相談、土曜教育相談、医療相談、学校訪問相談、グループ活動

②不登校児童生徒への支援の充実

適応指導教室

不登校児童生徒の一時的な居場所を確保し、学校生活への復帰を支援する。

- | | | |
|---------------|--------------|-------------|
| (1) ライトポート花見川 | (3) ライトポート中央 | (5) ライトポート緑 |
| (2) ライトポート若葉 | (4) ライトポート美浜 | |

教育相談指導教室の整備

心理的要因により不登校になった生徒の通常学級への復帰をめざすため旧真砂第二小学校跡施設に教育相談指導教室を整備する。

家庭訪問相談員の派遣

不登校で引きこもり傾向の子どもや病気で長期欠席している小・中学生の家庭を訪問して相談活動を実施する。

- ・家庭訪問相談員 12人 ・週1回2時間程度

③国際化への対応

国際理解教育推進(外国人児童生徒指導協力員の派遣)

外国人児童生徒に日本語の指導及び学校適応指導を行う協力員を派遣する。

- ・外国人児童生徒指導協力員 11人

日本語指導通級教室整備

日本語指導が必要な外国人生徒に対して、専門的な指導を実施するため、旧真砂第二小学校跡施設に開設した日本語指導通級教室に必要な備品や消耗品等を整備する。

④教育の機会均等を図るための支援の充実

就学援助

経済的な理由により就学が困難な小・中学校に通学する児童生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、給食費などを援助する。

育英資金

市立高等学校に在学する本市在住の生徒で、学力優秀かつ経済的な理由により修学が困難な生徒に対し、必要な学資を給付する。

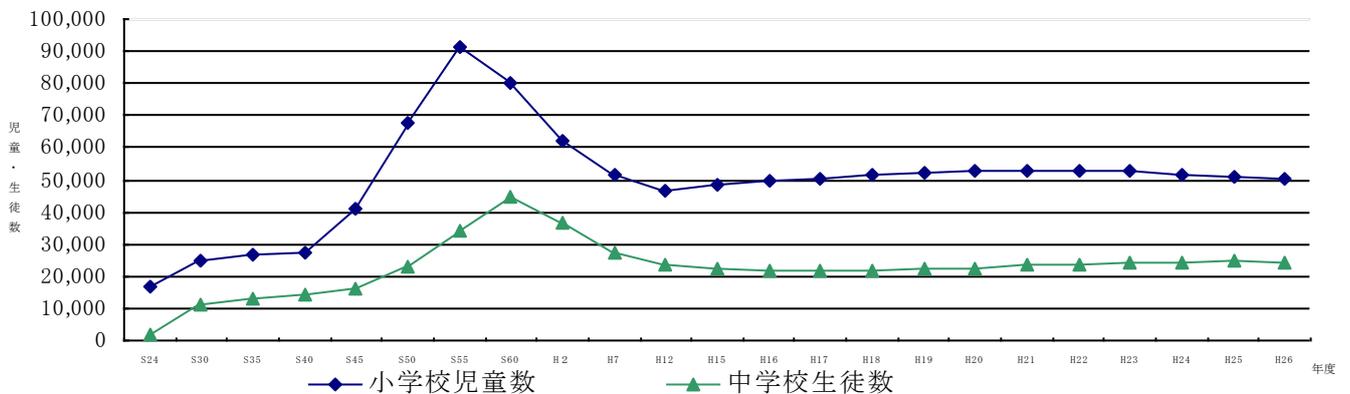
8 学校・家庭・地域・行政が一体となって、子どもの成長をサポートする

①学校・家庭・地域・行政の連携による取り組みの推進

子どもの夢をはぐくむ学校サポート推進事業(再掲)

■小・中学校児童生徒数の推移

年	小 学 校			中 学 校		
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数
昭和25年	14校	333学級	16,635人	7校	133学級	2,142人
30	26	541 1/2	24,936	13	231	11,325
35	36	583	26,862	18	276	13,148
40	44	703	27,134	21	335	14,385
45	57	1,097	41,076	26	392	15,955
50	83	1,811	67,570	36	574	23,154
55	99	2,365	91,041	44	837	34,370
60	110	2,150	80,307	51	1,079	44,864
平成2年	110	1,890	61,850	52	977	36,686
7	114	1,698	51,695	54	913	27,621
12	118	1,560	46,539	56	701	23,477
15	119	1,627	48,674	56	662	22,231
16	119	1,661	49,439	56	647	21,728
17	120	1,698	50,620	56	657	21,497
18	120	1,742	51,604	56	668	21,638
19	120	1,791	51,877	57	698	22,273
20	120	1,822	52,781	57	714	22,644
21	120	1,844	52,941	57	745	23,308
22	120	1,854	52,848	57	745	23,346
23	117	1,854	52,569	57	767	24,076
24	116	1,857	51,734	57	769	24,313
25	113	1,833	51,037	56	784	24,558
26	113	1,838	50,518	56	785	24,511



■学校施設整備計画

1 平成26年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	学 校 名 ・ 事 業 内 容	事 業 費
教室不足解消	(校舎棟(賃貸借)) 宮野木小・平山小・稲丘小・新宿小・扇田小・おゆみ野南小・金沢小・蘇我小・星久喜小・幕張西小・あすみが丘小・幕張西中・新宿中・蘇我中・打瀬中・稲毛高附属中・養護 (校舎内部改修) 小中台小・稲毛中	275,856
エレベーター設置	(実施設計) 大宮小・真砂第五小 (設置工事) 千草台東小・千城台東小・大宮台小・誉田小・緑が丘中・小中台中	302,700
校舎耐震補強	(補強工事) 磯辺第三小・花見川第一小・高洲第三小・高洲第四小・轟町小・桜木小・松ヶ丘小・真砂第五小・西小中台小・千城台旭小・千城台南小・千城台東小・千城台西小・鶴沢小・白井小・平山小・北貝塚小・更科小・誉田東小・新宿小・登戸小・千草台東小・千城小・幸町第二中・高洲第二中・千城台南中・犢橋中・土氣中・誉田中・末広中・稲毛高・第二養護 ◎補強工事に伴う備品移動等は当初予算、その他は25年度予算の繰越明許による	3,572,718
屋内運動場耐震補強	(補強工事) 稲丘小・園生小・花見川第一小・花見川第二小・花見川第三小・花島小・高洲第四小・真砂第五小・千城台旭小・千城台西小・高洲第二中・千城台西中・稲毛高	939,100
学校適正配置改修	(改修実施設計) 稲毛高附属中(旧高浜二小) (改修工事他) 磯辺中・幸町総合小学校(旧幸町第四小)・花見川統合中学校(花見川第一中)・高洲第三小・花見川第二中・千城台旭小	1,375,955
校舎等解体	(解体実施設計) 旧磯辺第一小・旧磯辺第二小・旧高洲第二小・旧磯辺第二中 (解体工事) 旧真砂第四小	135,430
非構造部材等耐震対策	(実施設計) 校舎 椎名小・小中台小・あやめ台小・さつきが丘東小・生浜東小・犢橋小・花見川第三小・寒川小・仁戸名小・畑小・誉田小・川戸中・若松中・更科中 屋内運動場 源小・越智小・高浜海浜小・泉谷小・西の谷小・土気南小・椎名小・あすみが丘小・瑞穂小・大森小 海浜打瀬小・蘇我小・生浜東小・弁天小・千城小・おゆみ野南小・美浜打瀬小・緑町小・稲浜中・生浜中・泉谷中・椿森中・更科中・幕張中・松ヶ丘中・轟町中・花園中・おゆみ野南中・大椎中・千葉高・稲毛高・養護 (吊天井等落下防止対策工事) 大椎小・上の台小・磯辺第三小・磯辺小・朝日ヶ丘小・小谷小・打瀬小・金沢小・扇田小・有吉小・加曾利中・山王中・朝日ヶ丘中・貝塚中・土氣中・誉田中・土気南中・越智中・幕張本郷中・打瀬中・有吉中	1,637,000

2 過去3か年の校舎等建設内訳

事業名	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	学校・教室数	面積 m ²	学校・教室数	面積 m ²	学校・教室数	面積 m ²
教室不足解消事業	18室	2,040	8室	980	0室	0
大規模改造事業	3校	—	5校	—	3校	—

■研修及び研究奨励事業等の概要

1 基本研修・専門研修

初任教員、初期教員、中期教員、後期教員、校長、教頭、教務主任、研究主任、進路指導主事、各教科等主任

2 教育研究奨励及び研修助成

- | | | | |
|------------|-----|------------|---------------|
| (1) 現場研究員 | 55人 | (3) 団体研究委託 | 1団体(千葉市教育研究会) |
| (2) 海外派遣補助 | 15人 | (4) 教育研究奨励 | 25人 |

3 児童・生徒の成果発表、学習会

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| (1) 絵をかく会 | (6) 生徒理科学習会・生徒理科実験会 |
| (2) 総合展覧会 | (7) 児童理科実験会、児童植物観察会、児童天文学習会 |
| (3) 小学校音楽発表会 | (8) 中学校英語発表会 |
| (4) 中学校音楽発表会 | (9) 文集・詩集「ともしび」、読書感想文集「本だな」の発刊 |
| (5) 理科研究相談会 | |

4 指導資料の作成及び配布

- | | |
|-----------------------|------------|
| (1) わたしたちの千葉市、伸びゆく千葉市 | (3) 各種研究資料 |
| (2) 千葉市の特別支援教育 | (4) その他 |

5 副読本の配布(児童生徒用)

- 小学校3・4年生用「わたしたちの千葉市」
- 中学校用「伸びゆく千葉市」

■平成 26 年度 研究学校

1 千葉市指定研究学校

No.	学校名	研究主題	研究内容・教科	指定期間	報告会
1	寒川小学校 《教育課題》	かかわり合いを通して、粘り強く取り組む子どもの育成	かかわり合いを中核とした学校教育	平 25～26	H26. 11. 12
2	緑町中学校 《教育課題》	豊かな思考力・判断力・表現力をはぐくむための言語活動の充実 ～ICT 機器の効果的な活用を通して～	I C T 活用	平 25～26	H26. 10. 28
3	緑町小学校 《教育課題》	感動のある授業を創る	今日的課題の究明	平 26～27	H26. 12. 5
4	海浜打瀬小学校 《教育課題》	自ら問える子を育てる算数学習 ～評価と指導の一体化を通して～	思考力、判断力を伸ばす指導の手立て	平 26～27	未定
5	宮野木小学校 《教育課題》	9年間を見通した学びの連続性	小・中学校の連携の推進	平 26～27	未定
6	緑が丘中学校 《教育課題》				
7	千草台小学校 《学習指導》	自ら考え、共に学ぶ子どもの育成 ～自己表現力を高める算数学習～	算数	平 25～26	H26. 11. 28
8	幸町第二中学校 《学習指導》	確かな学力を育成するための「わかる授業」の創造	全教科	平 25～26	H26. 6. 26
9	稲毛中学校 《学習指導》	知識・技能を活用できる生徒を育てる指導 ～「各教科等における言語活動に関する能力」の指導の工夫を通して～	全教科	平 25～26	未定
10	鶴沢小学校 《学習指導》	心はずませる学びの創造 ～生活科・社会科の豊かな学びを通して～	社会	平 26～27	未定
11	都賀小学校 《学習指導》	かかわり合い、考えを深める子どもの育成	理科、生活科 国語	平 26～27	未定
12	金沢小学校 《学習指導》	学習の楽しさを味わい、進んで考えを表現し合う算数学習のあり方 ～「できる」を実感できる子どもの姿をめざして～	算数	平 26～27	未定
13	越智中学校 《学習指導》	学習意欲を高め、確かな学力の向上を図る指導法の工夫 ～わかる授業と学び方指導の工夫～	全教科	平 26～27	未定
14	幕張東小学校 《道徳》	自己を拓き、豊かな心をはぐくむ道徳教育の創造 ～各教科等を生かした心に響く指導方法の工夫～	道徳教育	平 25～26	H26. 11. 14
15	さつきが丘中学校 《道徳》	他を思いやり、より良く生きようとする生徒の育成 ～体験活動との連携を図って～	道徳教育	平 26～27	未定
16	千城台北小学校 《特別支援教育》	たがいに知り合い、一人一人を認め合う児童の育成 ～「ふれあい」から「かよいあい」の交流及び共同学習を通して～	特別支援教育	平 26～27	未定
17	上の台小学校 《体育指導》	運動に親しみ、主体的に学び続ける子どもの育成 ～わかる・できる・楽しい体育～	体育指導	平 26～27	未定
18	こてはし台中学校 《保健体育指導》	自ら考え、運動に取り組む生徒の育成 ～ミーティングの有効的活用を通して～	保健体育指導	平 25～26	H26. 11. 27
19	若松小学校 《健康教育》	健康的な生活を習慣化できる児童の育成	健康教育	平 26～27	未定

2 千葉市指定推進校

①幼・保・小関連教育推進（〇は幹事校）

	学 校 名	行政区	期 間
1	〇仁戸名小学校 松が丘小学校	中 央 区	平 26
2	〇犢橋小学校	花 見 川 区	
3	〇稲丘小学校 稲毛小学校	稲 毛 区	
4	〇大宮台小学校 大宮小学校	若 葉 区	
5	〇小谷小学校 平山小学校	緑 区	
6	〇真砂西小学校 高浜海浜小学校	美 浜 区	

②地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

	学 校 名	期 間
1	高洲第一中学校 高洲小学校 高洲第三小学校	平 26

3 文部科学省指定研究学校等

①学力把握実践研究協力校

	学 校 名	期 間
1	海浜打瀬小学校	平 26

②学習指導実践研究協力校

	学 校 名	期 間
1	金沢小学校 蘇我小学校 おゆみ野南中学校 宮崎小学校 末広中学校 幕張東小学校 轟町小学校	平 26

③健全育成のための体験活動推進事業

	学 校 名	期 間
1	全小学校	平 26

④インクルーシブ教育システム構築モデル地域(交流及び共同学習)

	学 校 名	期 間
1	真砂東小学校 真砂西小学校	平 26

【その他】

ONIE実践校(千葉県NIE推進協議会)

	学 校 名	期 間
1	小中台小学校 土気南中学校	平 26～27

〇福祉教育(ボランティア活動)推進協力校(千葉市社会福祉協議会)

	学 校 名	期 間
1	寒川小学校 都賀小学校 こてはし台小学校 北貝塚小学校 高洲第四小学校	平 24～26
2	園生小学校 更科小学校 宮崎小学校 瑞穂小学校 真砂東小学校	平 25～27
3	都小学校 千城台西小学校 高浜第一小学校 越智小学校 打瀬小学校	平 26～28

〇福祉教育研究大会開催協力校

	学 校 名	期 間
1	天戸中学校	平 26

〇千葉市環境学習モデル校(環境保全部環境保全課)

	学 校 名	行政区	学 校 名	行政区	期 間
1	院内小学校	中 央 区	7 葛城中学校	中 央 区	平 26
2	弁天小学校	中 央 区	8 花園中学校	花 見 川 区	
3	幕張小学校	花 見 川 区	9 都賀中学校	稲 毛 区	
4	幕張南小学校	花 見 川 区	10 加曾利中学校	若 葉 区	
5	真砂第五小学校	美 浜 区	11 千城台西中学校	若 葉 区	
6	真砂東小学校	美 浜 区	12 誉田中学校	緑 区	

■学校体育・学校保健・学校給食

1 教職員研修

(1) 経営研修

体育・保健体育主任、保健主事、保健指導主任、養護教諭、給食指導主任、栄養教諭、学校栄養職員、給食従事職員、安全指導主任、各研修会

(2) 専門研修

小学校球技審判講習会、体育指導者合宿講習会、学校体育経営推進研修会、学校給食研究協議会、学校給食調理員講習会等、学校体育実技・運動部活動指導者講習会

他に、教育センター主管のもとに、表現運動実技研修講座、学校体育科講座、健康教育講座、食と健康講座

(3) 派遣事業

学校体育実技指導協力者派遣事業、中学校運動部活動指導者派遣事業、小学校プール管理補助員派遣事業

2 学校体育関係事業

(1) 大会・発表会

- ・小学校関係 表現運動発表会、陸上大会、球技大会
- ・中学校関係 市総合体育大会、市新人スポーツ大会、県及び関東・全国体育大会選手派遣

(2) 運動能力検定・運動能力証合格状況（平成25年度）

種 類	級別合格者数			合格者合計	合格率
	A級	B級	C級		
市 小学校運動能力検定	666	816	2,890	4,372	26.3%
県 運動能力証(小学校)				4,597	26.2%
〃 〃 (中学校)				6,265	25.9%

(3) 泳力調査結果(平成25年度)

- ・小学校(25m以上泳げる者の割合)

学 年	3 年			4 年			5 年			6 年		
	男	女	全	男	女	全	男	女	全	男	女	全
割 合(%)	43.6	38.0	40.7	66.0	61.4	63.9	82.0	78.4	80.3	90.1	87.6	89.0

- ・中学校(50m以上泳げる者の割合)

学 年	1 年			2 年			3 年		
	男	女	全	男	女	全	男	女	全
割 合(%)	66.6	58.6	62.7	74.5	60.2	67.4	78.4	66.3	72.8

3 学校保健関係事業

(1) 定期健康診断より体位平均値（平成25年度）

小中別 項目	小 学 校								中 学 校					
	5				6				1		2		3	
	男		女		男		女		男	女	男	女	男	女
身長 cm	139.2		140.3		145.0		147.1		152.6	152.0	159.5	155.0	165.1	156.7
体重 kg	34.3		33.9		38.3		38.8		43.8	43.4	48.5	47.0	53.6	49.6
座高 cm	75.0		75.9		77.2		79.2		81.1	82.0	84.7	83.6	88.0	84.8

(2) 心臓疾患健診 (平成 25 年度)

心電図検査	対象学年		受診者数	所見者数	異常なし	
	小学校 1 年		8,116	267	7,849	
	中学校 1 年		7,965	443	7,522	
	特別支援学校小 1、中 1 年		23	0	23	
精密検査	精密検査対象理由		学校別	受診者数	要管理	管理不要
	心電図検査から	小	72	17	55	
		中	112	45	67	
		特	0	0	0	
	前年度からの経過観察者	小	18	6	12	
		中	30	15	15	
		特	1	0	1	
	定期健康診断から	小	18	0	18	
		中	23	4	19	
特		0	0	0		

(3) 学校尿検査 (平成 25 年度) 17 年度より経過観察者も 2 次受診、精検は新規者のみ受診

対象者	1 次受診者数	2 次受診者数	精検受診者数	所見者数
75,861	74,654	2,347	285	173
1 次受診者に対する割合		3.14%	0.38%	0.23%

(4) 脊柱側弯症検診 (平成 25 年度)

	受診対象者	受診者数	有所見者数		異常なし
モアレ撮影	小 6 年	8,824	614		8,210
低線量 X 線	小・中学生	1,386	次年度検 256	フィルム判 266	864
フィルム判定結果	小・中学生	266	要治療 33	要観察 233	

(5) 結核健診 (平成 25 年度)

項目	問診調査		精密検査				
	問診調査実施者	要検討者	精密検診検討者	書類審査のみ	精密検診受診者	有所見者	異常なし
小学校	51,006		150	29	113	0	113
中学校	24,506		56	8	47	0	47
特別支援学校	109		0	0	0	0	0

(6) 口腔衛生指導 (平成 25 年度)

歯科衛生士	学校数	指導内容別対象者(人)	
		歯みがき指導	保護者参観
3 (内 1 は非常勤職員)	162 (特別支援学校 2)	15,851	744

(7) 歯と口の健康づくり啓発事業 (平成 25 年度)

○実施校

実施中学校区	実施日	学校名	児童生徒数(人)	担当歯科医師(人)
加曾利中学校区	7月 4日	千城小学校	50	6
	7月 11日	坂月小学校	58	6
	9月 19日	加曾利中学校	499	19
	11月 21日	都小学校	636	27
	11月 28日	桜木小学校	837	32
松ヶ丘中学校区	9月 26日	仁戸名小学校	169	11
	10月 3日	松ヶ丘中学校	417	19
	10月 31日	松ヶ丘小学校	333	20

○指導内容一実施時間小学校 45 分、中学校 45 分で行う
1 学級につき、2 名の歯科医師と担任が担当

区 分	学 年	テ ー マ
小 学 校	低 学 年	「第一大臼歯を大切にしよう」
	中 学 年	「歯のつくりと働きを知ろう」
	高 学 年	「歯と歯肉の病気（歯周病）を予防しよう」
中 学 校		「自分の健康は自分で守ろう」

(8) 自然教室推進事業（前期・後期）（平成 25 年度）

場 所	開設学校数	対 象 学 年	学 級 数	生 徒 数
高 原 千 葉 村	56 校	2 学年	237 学級	7,994 人

(9) 日本スポーツ振興センター（平成 25 年 4 月加入）

○加入者数及び共済掛金額

学 校 種 別	加 入 者 数 (人)	共 済 掛 金 額 (円)
小 学 校	51,153	47,050,145
中 学 校	24,541	22,803,225
特 別 支 援 学 校	295	445,415
合 計	75,989	70,298,785

中途加入者 185 人

○共済給付金

75,764,372 円

・医療費 73,544,372 円 11,518 件

・障害見舞金 2,220,000 円 2 件

・死亡見舞金 0 円 0 件

○学校管理下の災害における請求件数 14,431 件

○場所別災害発生件数

(件)

学校種別	場 諸			合 計
	校 舎 内	校 舎 外	学 校 外	
小 学 校	1,456	1,360	314	3,130
中 学 校	1,312	1,235	361	2,908
合 計	2,768	2,595	675	6,038

○場合別災害発生件数

(件)

学校種別	各 教 科		課外指導	休 憩 時	登 下 校	特 別 活 動		合 計
	体 育	そ の 他				学 校 行 事	児 童 生 徒 活 動	
小 学 校	721	211	125	1,321	215	148	389	3,130
中 学 校	655	81	1,477	381	35	184	95	2,908
合 計	1,376	292	1,602	1,702	250	332	484	6,038

○災害種類別被災人数

(人)

学校種別	骨	捻	脱	打 挫	挫	切	刺	裂 割	擦 過	火 熱	歯 牙	そ の	合
	折	挫	臼	撲 傷	創	創	創	創 創	傷	傷	破 折	他	計
小 学 校	675	548	90	1,069	236	71	24	38	38	14	53	274	3,130
中 学 校	816	637	47	834	86	46	10	7	12	11	15	387	2,908
合 計	1,491	1,185	137	1,903	322	117	34	45	50	25	68	661	6,038

(10) 医療費援助事業（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）

上段：(人) 下段：円

学校種別	疾病種別	トラコーマ	結膜炎	中耳炎	副鼻腔炎	アデノイド	う歯	皮膚疾患	寄生虫病	合計
	準要別									
小学校	要保護			(1) 8,700	(4) 10,950		(25) 407,600			(30) 427,250
	準要保護			(1) 4,410	(5) 12,839		(201) 843,901			(207) 861,150
	計			(2) 13,110	(9) 23,789		(226) 1,251,501			(237) 1,288,400
中学校	要保護						(4) 58,550			(4) 58,550
	準要保護				(2) 11,530		(92) 521,010			(94) 532,540
	計				(2) 11,530		(96) 579,560			(98) 591,090
合計			(2) 13,110	(11) 35,319		(322) 1,831,061			(335) 1,879,490	

4 学校給食の状況

(1) 実施状況（平成 25 年 5 月 1 日現在）

○小学校

○特別支援学校

方式	学校数(校)	児童数(人)	実施率	方式	学校数(校)	児童・生徒数(人)	実施率
単独調理場方式	113	51,037	100%	単独調理場方式	2	249	100%

○中学校 *各給食センターそれぞれ2献立方式採用、若葉学校給食センターの調理業務は民間委託で実施。
新港・大宮学校給食センターはPFI方式で実施。

方式	給食センター名	学校数(校)	担当中学校等	生徒数(人)	実施率
共同調理場方式	若葉学校給食センター	15	花園・犢橋・幕張・稲毛・花見川第一・こてはし台・さつきが丘・草野・幕張西・緑が丘・花見川第二・天戸・朝日ヶ丘・幕張本郷・稲毛高附属	6,775	100%
	新港学校給食センター	20	緑町・小中台・新宿・蘇我・轟町・千草台・幸町第一・高洲第一・都賀・高洲第二・みつわ台・高浜・幸町第二・山王・稲浜・打瀬・磯辺・真砂・高等特別支援学校・養護学校真砂分校	8,507	100%
	大宮学校給食センター	23	加曾利・末広・葛城・椿森・生浜・誉田・松ヶ丘・白井・更科・川戸・土気・千城台西・星久喜・大宮・千城台南・若松・貝塚・越智・泉谷・土気南・有吉・大椎・おゆみ野南	9,275	100%
	計	58		24,557	100%

(2) 給食費

区分	一食単価(円)	
小学校	低学年	255
	高学年	273
中学校	290	

(3) 就学奨励事業（平成 25 年度）

区分	準要保護児童・生徒給食費補助		特別支援学級児童・生徒給食費補助	
	対象人数(人)	補助額(県費及び市費)(円)	対象人数(人)	補助額(国費及び市費)(円)
小学校	3,732	162,778,753	336	7,172,593
中学校	2,362	109,927,917	201	4,495,634
計	6,094	272,706,670	537	11,668,227

■特別支援教育

1 特別支援学校及び特別支援学級等の設置状況

平成 26 年 5 月 1 日現在

種別 学級数 児童・生徒数	特別支援学校			特別支援学級等										合計	
	知的障害			知的障害		自閉・情緒		言語		難聴		病虚弱			小計
	小	中	高	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中		
学級数	15 (1)	9	29	87	44	41	23	13	0	4	0	2	0	214	267 (1)
児童・生徒数	64 (2)	39	199	401	246	[10]	[2]	[18]	0	28	0	4	0	1,055	1,357 (2)
						[94]	[32]	[210]		[7]				[343]	[343]

- ・特別支援学校の学級数、児童生徒数欄の（ ）は訪問教育の数で内数。
- ・自閉・情緒は市立青葉病院の病院内学級を含む。
- ・通級指導教室は [] で外数。
- ・病虚弱は、市立海浜病院、千葉医療センターの病院内学級を含む。

2 特別支援学校

知的発達の遅滞があり意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする子ども及びその程度には至らないが社会生活への適応が著しく困難な子ども等を対象にして、生活上必要な知識や技能、態度を身に付けさせ、社会的に自立できる人間を育成するため昭和 39 年 4 月、千葉市立養護学校を設立した。

次いで、障害のある児童生徒の急増と養護学校の義務制に対応して、昭和 53 年 4 月に千葉市立第二養護学校を設立した。

また、昭和 54 年の養護学校の義務制の実施により、在宅していたり、施設に入っていたりする障害のある児童生徒に対する訪問教育を養護学校に移管して実施している。

平成 3 年 4 月、千葉市花見川区大日町に県立千葉養護学校(知的障害)が開校された。(県立千葉特別支援学校)

平成 3 年 9 月、千葉市立養護学校は全面改築により新校舎に移転し、特別支援教育の一層の充実に努めている。

平成 25 年 4 月、軽度の知的障害のある生徒を対象にし、社会自立・職業自立を目指す市立高等特別支援学校を開設した。

3 特別支援学級等

特別支援学級と通級指導教室の設置校は、小学校 78 校、中学校 33 校、計 111 校で、学級数は上表のとおりである。

小学校の知的障害学級では、児童の特性に応じて基本的生活習慣の確立、体力づくり、社会生活に必要な言語や数量などの指導を行っている。

中学校の知的障害学級では、対人関係や集団参加を円滑にするための指導や、職業生活・家庭生活に必要な知識・技能、態度を身に付ける指導も行っている。

近年、通常の学級の児童生徒や地域の人たちとの交流及び共同学習が活発に行われ、理解と認識が深まる等多くの成果を得てきている。

自閉症・情緒障害学級は、小・中学校に設置している学級の他、千葉市立青葉病院にも設置している。

対象児は年々増加傾向にあり、医学的見地からの助言も得ながら、指導に万全を期している。

言語障害・難聴学級は、障害の特性から、普段は通常の学級で教科等の指導を受け、障害の改善、軽減及び克服のための指導を週に必要回数受けるという通級方式による指導の形態をとっている。指導の効果をさらに高めて行くために、通常の学級の担任や保護者との連携を深めている。

平成 6 年度から徐々に通級指導教室に切替えており、現在、言語障害通級指導教室を 8 校 18 教室設置している。

平成 13 年度から、通常の学級に在籍している難聴生徒に対して、県立千葉聾学校の教員による通級指導が聾学校通級サテライト教室(今年度 1 校)において実施されている。また、平成 14 年度に、通常の学級に在籍している情緒障害児童に対して指導を行う情緒障害通級指導教室を、花見川第三小学校に設置し、平成 18 年度には、あやめ台小学校と旧高浜第二小学校(現・高浜海浜小学校)、平成 19 年度には、小倉小学校と誉田東小学校、平成 20 年度には、花見川第二中学校、平成 21 年度には、鶴沢小学校に、平成 24 年度には、末広中に設置している。平成 19 年度に、名称を LD 等通級指導教室とし、知的発達の遅れはないが行動上の問題等が見られる児童への通級による指導を行っている。平成 26 年度は、小・中学校を合わせて 12 教室設置している。

病・虚弱学級は、国立病院機構千葉医療センター内に1、千葉市立海浜病院に1、新宿小学校内に1、計3学級を設置し、体調、病状を把握しながら指導を行っている。

4 就学相談及び就学指導

障害等のある児童生徒の就学については、学識経験者、医師、教育職員等20人からなる就学指導委員会を組織するとともに、教員42人を調査員として委嘱・任命し、調査等を常時行える体制を整え、千葉市養護教育センターとの連携を図りながら、望ましい就学指導ができるように万全を期している。

■教育センター

学校教育部所属
第1類教育機関

本市教育の充実と発展のため以下の事業を推進する。
教育課題解明のための調査・開発研究、教職員の専門的資質の向上を目指す教職員の研修、教育内容の質的向上に資する資料収集と情報の提供、情報教育推進のための調査研究及び教育情報ネットワーク(Cabinet)に関する業務、児童生徒等に対する教育相談を行う。



▲教育センター

[各部門の事業概要]

◆情報教育部門

1 事業方針

- (1) 情報機器及び情報通信網を活用した情報教育の推進に関する企画・指導・助言を行う。
- (2) 情報機器及び情報通信網を活用した情報教育に関する調査及び研究を行う。
- (3) 教育情報ネットワーク(Cabinet)の保守管理と教育情報・学習情報のオンライン提供に努める。
- (4) 「教育の情報化」に関する調査・資料提供・環境整備を行う。

2 事業計画

- (1) 情報教育推進に関する企画、指導及び助言
 - ① 教職員研修及び校内研修の充実
情報活用能力の育成を図るための教職員研修を14講座25組開催。
また、実態に応じた研修を実施するために、希望に応じて校内研修等に講師を派遣する。
 - ② 情報教育支援員による学校の情報教育支援
各学校のネットワーク利用教育を支援するため、情報教育通信網の保守管理及び操作法等に関する相談に応える。
- (2) 情報教育に関する調査及び研究
 - ① 教科指導におけるICT活用と情報教育の推進
学校における児童生徒の主体的な問題解決学習を支援するため、学習コンテンツの整備を行う。
「千葉市小中学校版情報モラル教育カリキュラム」及び、「情報モラルコンテンツ」を活用した、情報モラル教育を推進する。
 - ② 校内LANを生かした情報教育機器活用に関する研究
効果的なICT活用に関する指導法の研究を行い、ICT活用指導の実践を通じた資料を作成する。
 - ③ 情報教育に関する調査の実施
文部科学省実態調査、千葉市独自の情報教育実態調査、「教育の情報化」に関する実態調査を継続して実施する。

- ④ 急速に進歩する情報システムに係わる調査・研究
オープンソース方式、拠点サーバのホスティング方式など、セキュリティを向上させるための新しいシステムに関する調査研究を進めるとともに、トータルコスト抑制に関するシステムの研究を推進する。
- (3) 教育情報ネットワーク(Cabinet)の保守管理と教育情報・学習情報のオンライン提供
 - ① 小学校PC室40台化及び校務用コンピュータの教員1人1台化の実現に努める。
 - ② 千葉市教育情報ネットワーク(Cabinet)の適切な保守管理・運用に努める。
- (4) 「教育の情報化」に関する調査・資料提供・環境整備
 - ① 大規模改修校等の校内LANの整備を行う。
 - ② 教育用と校務用を併用できるセキュリティ性の高い情報端末及びネットワークシステムの活用を促進する。

◆教育広報部門

1 事業方針

- (1) 学校における研究・研修・学習指導を支援するため、教育に関する広報及び教育資料や情報の収集・整備・提供を行う。
- (2) 教育用ソフトウェアライブラリーを設け、コンピュータ利用教育の推進に資する。
- (3) 学校ホームページ・教育センターホームページの充実と教育情報・学校情報等の拡充に努める。

2 事業計画

- (1) 教育に関する情報の収集・整備・提供
 - ① 教育資料・教育情報の提供
「教育センターNews」を年8回ホームページで発信し、最新の情報の提供に努める。また、教育図書の利用を促進する。
 - ② 教育情報・学習情報の電子情報化の推進
教育図書・資料及び学習資料を迅速かつ的確に提供するため、電子情報化を図り、ネットワークによる提供を進める。
- (2) 教育用ソフトウェアの収集・提供
最新の教育用ソフトウェアを収集・整理する。
- (3) Cabinetのポータルサイトの管理運営
 - ① 学校ホームページの更新促進と作成支援
 - ② 教育センターホームページの充実

◆教育研究部門

1 事業方針

- (1) 新しい時代の教育の創造を目指し、教育課題を解明するために、教育を取り巻く諸条件や教育課題などに関する調査研究及び開発研究の推進を図る(課題研究の推進)。
- (2) 「わかる、つかえる、役に立つ」教育研究成果の普及に努める(研究成果の普及)。
- (3) 教職員としての資質と指導力の向上を図るため、自主的な研究や実践を発表する場と機会を設け、努力を称揚し成果を各学校の教育活動に役立てる(研究の奨励)。
- (4) 全国教育研究所連盟、関東地区教育研究所連盟、指定都市教育研究所連盟、千葉県教育研究所連盟等に加盟し、共同研究を推進する(共同研究の推進)。

2 事業計画

- (1) 課題研究の推進
市の教育施策や国・他府県・政令市の動向を踏まえ、先見性のある課題研究を進める。
現場のニーズや問題の所在を把握して課題設定を行い、必要度の高い研究を推進する。
他部門の業務に関する教育課題や懸案事項の解決のための部門研究をサポートする。
 - ① 確かな学力の育成に関する研究Ⅲ
 - ② タブレット型PCを活用した授業に関する研究
 - ③ キャリア教育に関する研究
 - ④ 予防開発的教育相談に関する研究
 - ⑤ 外国語活動に関する研究
 - ⑥ 学校教育目標の具現化のための校内研究の在り方
 - ⑦ 学校事務に関する研究

- (2) 研究成果の普及
- ① 千葉市教育情報ネットワーク(Cabinet)による成果の配信
 - ② 出前講座による積極的な研究成果の普及
 - ③ 研究協力員・協力校との連携
研究協力員の在籍校や研究協力校を中心に実践を広げるよう働きかける。

- (3) 研究の奨励
- ① 第35回千葉市教職員教育研究発表会を実施し、教職員の資質と指導力の向上を目指す。
 - ② 長期研修生が研究・研修の成果を上げられるよう、適切な共通研修の運営に努める。



▲第34回千葉市教職員教育研究発表会

- (4) 他の教育研究機関との共同研究
他の教育研究機関との共同研究を推進することにより、本市の教育課題の解明に役立てる。
- ① 全国教育研究所連盟・所長協議会への参加・協力
 - ② 関東地区教育研究所連盟事業への参加・協力
 - ③ 指定都市教育研究所連盟との共同研究推進
 - ④ 千葉県教育研究所連盟との共同研究推進

- (5) 教育文献・教育資料の収集
教育関係機関、出版社及び市内各学校から教育情報・研究紀要・調査報告書を収集し、教職員の活用に資する。

- (6) 教育図書収集
教育専門図書室としての機能を果たすため、教育関係者の利用に資する図書を各分野にわたって収集する。

【教育図書・資料の収集状況】

	平成25年度	平成26年度予定数
教育関係図書	18,883冊	19,083冊
教育関係雑誌	17,822冊	18,257冊
教育関係資料	20,791冊	20,951冊

◆教職員研修部門

1 事業方針

教職員に望まれる資質能力の向上を目指した教職員研修を推進し、新しい教育観の確立とともに、教育内容と方法の改善に対応できる指導力の向上や教職員自身の豊かな人間性を培う。

また、それぞれの年齢、経験年数を踏まえ、層別に研修が進められる研修プログラムを企画し、教職員の専門的能力の向上を図る。

2 事業計画

教職員の研修事業は、「千葉市教職員研修体系」に基づいて、基本研修、専門研修を実施する。

(1) 基本研修

- ① 教職経験年数の節目において基本的に必要な資質能力の向上を図る研修であり、指導力の深化伸長、拡充を図る。
- ② 学校教育の活性化を図るため、千葉市学校教育の課題を取り上げながら、管理職(校長・教頭)・教務主任として、新任時や昇任時に必要とする体系的知識を身に付ける。

(2) 専門研修

- ① 指導力の向上を目指し、見識を広めたり深めたりするために、教育課題に対応した研修をし、教職員としての資質能力の向上を図る。
- ② 職能に応じた研修
校長、教頭、教務主任、学年主任、学級担任、養護教諭、栄養職員、学校事務職員等、職能別にその力量の向上を図る。

<平成26年度教職研修講座の特徴>

(1) 基本研修

各層、各職における受講者の主体的な研修となるように課題別・参加型研修の充実を図る。また、指定研修

として「情報セキュリティ研修」、「電子黒板研修」、「Cabinet 校務用システム操作研修」、「不登校対策連絡協議会」を実施する。

平成 25 年度より推奨研修として「2, 3 年目研修（リレー研修）」を実施し、初任者研修で身につけたものを基に実践的指導力の促進を図る。平成 26 年度から、3 年目研修も実施する。

なお、平成 26 年度より推奨研修として「新任学年主任研修」、「新任研究主任研修」を実施し、学校経営の中核を担える立場として職能の向上を図る。

(2) 専門研修

- ① 社会情勢や学校現場の様子等を鑑み、平成 26 年度は特に授業力の向上に関する研修の充実を目指し、講座内容を再構成して実施する。
- ② 「わかる授業」充実のため、小・中別の教科指導の講座を、千葉市教育研究会と連携して実施する。
- ③ 千葉市の研修体系に基づき、教職員のライフステージに応じた経験層による研修のねらいを明確にする。
- ④ 科学館・中央図書館・少年自然の家・企業・ホテルなどと連携を図り、研修を進める。
- ⑤ 喫緊の課題に対応する講座として「アフタヌーンセミナー」を年 3 回実施する。
- ⑥ 「学校における子ども理解」や「言語活動の充実」「Cabinet 校務システムの活用」等の講座を、学校現場のニーズに応じて出前講座として実施する。
- ⑦ 若年層を中心とした教師力の向上を目指し、教科指導や学級経営に必要な具体的指導技術の習得のため、夜間講座を実施する。

＜教育センターにおける研修講座の構成＞

	研修の区分	事業名
基本研修	経年時研修 (4 講座)	初任者研修 5 年経験者研修 10 年経験者研修 20 年経験者研修
	新任時研修 (3 講座)	新任教務主任研修 新任教頭研修 新任校長研修
	事務職員研修 (5 講座)	初任事務職員研修 事務職員全体研修 事務職員層別研修 事務職員昇任時・経年時研修 事務職員地区別研修
	指定研修 (5 講座)	電子黒板研修 情報セキュリティ研修 Cabinet 校務用システム操作研修 不登校対策連絡協議会 Cabinet 取扱責任者講習会
	推奨研修 (3 講座)	2, 3 年目研修 (リレー研修) 新任学年主任研修 新任研究主任研修

	研修の区分	事業名
出前・夜間講座	校内研修支援 (7 講座)	出前講座 学校における子ども理解、言語活動の充実、Cabinet 校務用システムの活用 など
	教師力の向上 (8 講座)	夜間講座 ビフォーアール研修、小学校理科、学級経営、小学校国語、若手教員のための基礎講座、デジタル教材作成 など

	研修の区分	事業名	
専門研修	わかる授業 (25 講座)	教科等学習指導法講座(市教研連携講座) 小学校英語活動 生きる力を育てる読書教育 豊かな心を育む道徳教育 21 世紀型能力の育成 など	
		情報教育の推進 (18 講座)	情報モラル教育の進め方 I・II 学校ホームページの作成基礎 学習探検ナビ活用 教育用統合ソフトの活用 Office 講座 など
	楽しい教室 (8 講座)	カウンセリング・面接法 マインドアップ研修 エンカウンターを生かした学級づくり 子どもの人間関係調整能力を育てるために子どもへの援助の在り方を事例から学ぶ Q-U を活用した学級経営 シグナルII でよりよい学級・学年づくり 心を支える生徒指導	
	夢広がる学校	今日の課題と新しい学校づくり (3 講座)	学校の危機管理・保護者対応 健康教育 食と健康
		教職員の幅広い教養 (11 講座)	アフタヌーンセミナー①②③ 幼児教育公開講座 現地研修 (国語・社会・理科) 市内フィールドワーク 教職員教育研究発表会 科学館講座 など
公開講座	教育相談 (1 講座)	教育相談公開講座	

◆教育相談部門

1 事業方針

教育上の問題や悩みを持つ幼児・小学生・中学生・高校生・高校生年齢の青少年とその保護者及び教職員のための教育相談の充実を図るとともに、市民及び教職員を対象とした教育相談に関する広報活動の推進を図る。

2 事業計画

(1) 教育相談事業

- 教育上の悩みを持つ幼児・小学生・中学生・高校生・高校生年齢の青少年及びその保護者、教職員の相談を実施し、その理解や対応について助言・支援を行う。

- ・電話相談（随時）
- ・来所相談（予約制）
- ・医療相談（予約制）
- ・家庭訪問相談員派遣
- ・適応指導教室（ライトポート花見川・若葉・中央・美浜・緑）の運営
- ・グループカウンセリング活動（来所相談児童生徒が対象）
- ・IT等を活用した学習

(2) 研修・研究事業

① 研 修

- 教育相談に関する知職・技能の習得及び教職員の資質能力の向上を目指した研修を行う。

（講座等）

- ・カウンセリング・面接法
- ・マインドアップ研修
- ・エンカウンターを生かした学級づくり
- ・子どもの人間関係調整能力を育てるために
- ・子どもへの援助の在り方を事例から学ぶ
- ・Q-Uを活用した学級経営（アセスメントを生かした学級経営）
- ・心を支える生徒指導
- ・教育相談公開講座
- ・不登校対策連絡協議会

② 研 究

- テーマ「育てる教育相談の在り方 ―だれもが行きたくなる学校・学級づくりをめざして―」

(3) 広 報

- いじめや不登校の未然防止と児童生徒へのより積極的なかわりを目指して、教育相談活動への理解の深化と定着を図る。

- ・「教育センターNews」等による啓発活動
- ・「教育相談の案内」を小・中学生、教職員に配布
- ・教育相談研修講座で既刊の手引書等の活用
- ・ホームページに事業内容紹介

3 教育相談実施状況（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

電話相談	就学前	小学生	中学生	高校生	在宅	教職員	計
件数	14	957	1,361	168	3	1,431	3,934

来所相談	就学前	小学生	中学生	高校生	在宅	教職員	計
件数	0	162	244	23	0	304	733
延べ回数	0	1,372	14,389	102	0	304	16,167

適応指導教室	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
ライトポート花見川	0	1	0	0	0	1	1	12	14	29
ライトポート若葉	0	0	0	0	0	0	4	7	3	14
ライトポート中央	0	0	0	0	1	0	6	14	8	29
ライトポート美浜	0	0	0	0	1	0	6	10	8	25
ライトポート緑	0	0	0	0	1	3	1	8	5	18
合計	0	1	0	0	3	4	18	51	38	115

家庭訪問相談員	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
派遣件数	2	3	4	9	2	12	13	26	16	87

■ 養護教育センター

学校教育部所属
第2類教育機関

本市の特別支援教育の充実及び振興を図るため、障害等のある子ども・保護者や教職員からの相談、特別支援教育に関する教育研究、教育関係職員等の専門的資質の向上を目指す研修、特別支援教育に関する資料収集と情報提供を行う。



▲養護教育センター

[各部門の事業概要]

◆総務部門 指導企画

1 事業方針

- (1) 特別支援教育全体に係る事項の指導と企画の推進に努める。
- (2) 学校訪問等を通じて、指導内容や方法の改善・充実を図る。
- (3) 文部科学省・県教育委員会及び外郭団体等との折衝・協議を行い、特別支援教育を推進する。

2 事業計画

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| (1) 特別支援教育指導員の配置事業 | (5) 特別支援教育担当者会議 |
| (2) 特別支援教育体制の推進 | (6) 指導課業務との連携 |
| (3) 学校生活サポート事業の推進 | (7) その他特別支援教育に関する事項全般 |
| (4) 特別支援学級等備品整備事業 | |

◆教育相談・研究部門

1 事業方針

- | | |
|---------------|----------------------------|
| (1) 来所相談の充実 | (4) 長柄ハッピーキャンプの実施 |
| (2) 学校訪問相談の強化 | (5) 学校や他機関との連携 |
| (3) グループ活動の充実 | (6) 特別支援教育の今日的課題に対応した研究の推進 |

2 事業計画

(1) 教育相談事業

障害等のある幼児児童生徒、その保護者及び教職員への教育相談

ア 相談の充実

- ・来所相談、電話相談の充実…ケース会議の実施 年4回
- ・学校訪問相談…保育所（園）、幼稚園、小・中学校へ出向いての相談
- ・医療相談………医療面について医師に相談（小児科、精神神経科、耳鼻科）
- ・土曜教育相談…5月から2月までの第3土曜日（8月を除く）に実施
- ・グループ活動…ADHD等の児童生徒を対象に社会性を育てる小集団活動を実施
- ・トワイライト相談…特別支援教育・発達障害等に関する教職員の相談を16:30以降の時間帯で実施

[来所相談・電話相談実施状況] 平成26年3月31日現在

(主訴別)

区分		主訴								合計
		生活	学習	意思 言語	身体 運動	集団 適応	就学	進学	その他	
来所 相談	受理件数	123	261	28	0	421	230	62	35	1,160
	面接回数	684	1,481	200	0	3,404	811	250	144	6,974
電話相談件数		286	334	47	5	666	306	128	142	1,914

(対象別)

	幼児	小学生	中学生	高校生	保護者	教職員	その他	合計
来所相談件数	224	744	188	4	*1,160	0	0	1,160
電話相談件数	10				1,605	263	36	1,914

*保護者は、幼児、小学生、中学生と同伴のため来所相談件数合計に含めない。

イ 長柄ハッピーキャンプ

- ・グループ活動参加児童及びLD等通級指導教室に通級している児童を対象に実施

ウ 他機関等との連携

- ・LD等通級指導教室や特別支援学校との連携
- ・教育センター、児童相談所、療育センター、県総合教育センター特別支援教育部等との連絡を密にした相談活動の推進

(2) 調査研究事業

ア 研究主題

研究Ⅰ：特別支援学級担任の学習指導の在り方（学習指導案編）

研究Ⅱ：LD等通級指導教室の現状と課題（調査研究）

イ 研究内容

研究Ⅰ：特別支援学級の授業をするにあたって必要であると想定される指導に関する知識等の情報、実践事例を調査、実践し、指導案をホームページに掲載し提供する。

研究Ⅱ：主に小学校LD等通級指導教室の現状等について調査を実施し、データを整理するとともにその指導効果と今後の課題を明らかにする。今年度は2年計画の2年目である。

ウ 研究成果の活用

研究成果をホームページに掲載し、各学校での実践等に役立てるようにする。

◆研修部門

1 事業方針

(1) 特別支援教育関係職員及び通常の学級担任等を対象とし、教育実践上の諸問題の解決に役立つ研修を行い、専門職としての資質と指導力の向上を図る。

(2) 特別支援教育に関する図書・資料等を収集・整理し、関係職員の利用に供するとともに、特別支援教育指導資料を作成し、実践上の支援を図る。

また、広報や公開講座を通して情報を提供し、広く市民に特別支援教育の理解推進を図る。

2 事業計画

(1) 教職員研修事業

「千葉市教職員研修体系」を基に、基本研修と専門研修を実施する。

ア 基本研修

- ・特別支援学級等新任担当教員を対象に、基本的に必要となる資質力量の向上・充実を図るための研修
- ・発達障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行うため、学校における特別支援教育の推進役となるコーディネーターの養成を図るための研修

イ 専門研修

- ・特別な教育的ニーズに対応するための研修
- ・学習指導等の充実のための研修
- ・心理検査法の習得と活用のための研修
- ・特別支援教育の理解・推進のための研修



▲専門研修
「障害のある子どもの手遊びうたの指導講座」

<平成 26 年度教職員研修講座の特徴>

基本研修講座 5 講座、専門研修講座 29 講座、合計 34 講座を開設する。

ア 特別支援教育を取り巻く多様なニーズに応える幅広い講座の提供

イ 通常の学級担任のニーズに応える講座内容の工夫

ウ 体験・演習を重視した講座の実施

エ 特別支援教育の今日的課題を踏まえた講座内容の工夫

オ 市民を対象とした特別支援教育への理解を深めるための公開講座の充実

〈養護教育センターにおける研修講座の構成〉

研修の構成		講座名	
基本研修		特別支援教育新任担当教員研修① 知的、自閉・情緒	特別支援教育新任担当教員研修③ LD等通級
		特別支援教育新任担当教員研修② 言語・難聴	特別支援教育新任担当教員研修④ 病弱・虚弱
		新任特別支援教育コーディネーター研修	
研修の構成	講座名	研修の構成	講座名
専門研修	特別な教育的ニーズへの対応 発達障害児の基礎講座 発達障害児の指導(小学校編) 発達障害児の応用講座(中学校) 発達障害児の指導(中学校編) 学習面に困難を示す子どもの理解 行動面に困難を示す子どもの理解 対人関係に困難を示す子どもの指導 発達障害等の子が在籍する学級の実践1 障害のあるこどもの教育相談 発達障害等の子が在籍する学級の実践2 特別支援教育コーディネーターの指導者養成 発達障害児の理解～体験学習を通して～	専門研修 学習指導等の充実	障害のある子どもの音楽の指導 障害のある子どもの手遊びうたの指導 障害のある子どもの体育の指導 ことばやきこえの指導 自閉症児の理解と指導 障害のある子どもの国語・算数等の充実 障害のある子どもの音楽 障害のある子どもの生活単元学習 障害のある子どもの作業学習 特別支援学級の教育課程の編成(理論編) 特別支援学級の教育課程の編成(実践編)
研修の構成	講座名	研修の構成	講座名
専門研修	特別支援教育の理解推進 特別支援教育講演会 特別支援教育公開講座	専門研修 心理検査法の習得と活用	心理検査法基礎講座(検査法の概要) 心理検査法・田中ビネーV(初級・演習) 心理検査法・WISC-IV(初級・演習) 心理検査法・WISC-IV(中級:解釈と活用)

(2) 教育情報事業

ア 教育情報の収集及び提供

特別支援教育に関する教育図書及び資料を収集・蓄積し、要請に応じて教育情報の提供、成果の普及に努める。

【教育図書・資料等の収集状況】

	平成 25 年度末 までの収集状況	平成 26 年度 収集予定数
教育関係図書	4,686 冊	約 10 冊
教育関係雑誌	1,486 冊	約 30 冊
教育関係資料	1,133 冊	約 10 冊
ビデオテープ・DVD	139 本	1 本

イ 特別支援教育指導資料の作成

各小・中・特別支援学校の教職員の実践に役立つ資料を作成し、ホームページに掲載する。

ウ 理解推進のための広報活動

ホームページの更新を通して、特別支援教育に関する情報の提供に努める。